

目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や意図に応じ、考えた事や伝えたい事などを的確に話すことや相手の意図をつかみながら聞くことができるようにするとともに、計画的に話し合おうとする態度を育てる。</li> <li>・目的や意図に応じ、考えた事などを筋道を立てて文章に書くことができるようにするとともに効果的に表現しようとする態度を育てる。</li> <li>・目的に応じ、内容や要旨を把握しながら読むことができるようにするとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。</li> </ul>	
	学期	学習内容・到達目標
前 期	<b>1 想像を豊かにして「語り」をしよう／風切るつばさ／図書館へ行こう</b> ・物語を読んで感じたことや考えたことが表れるように、「語り」をする。 <b>表現をくふうして書こう</b> ・いろいろな表現の工夫を知り、表現の効果を考えて書く。 <b>熟語の構成を考えよう／漢字の練習</b> ・三字以上の熟語の構成を理解する。	問題を解決するために話し合おう ・自分の意見を的確に伝えて、ほかの人の意図を考えながら話し合おう <b>資料を活用して書こう／漢字の練習</b> ・資料を効果的に使って文章を書く。
	<b>2 自分の考えを明確にしながらか読もう／イースター島にはなぜ森林がないのか</b> ・筆者の主張を読み取って、それに対する自分の考えを持つ。 <b>学校の良さを宣伝しよう</b> ・根拠や理由を明確にして、聞き手の印象に残るように工夫して話す。 <b>動詞にそえて使う言葉に目を向けよう／漢字の練習</b> ・いろいろな補助動詞があることを知り、それぞれの働きや意味を理解する。	<b>1 人物の生き方を考えながらか読もう／海のいのち</b> ・物語に出てくる人物の関係を押さえながらか読む。 ・物語が自分に最も強く語りかけてきたことについて考える。 <b>子ども句会を開こう</b> ・表現を工夫して、俳句や短歌を作る。
	<b>3 物語が強く語りかけてきたことを考えながらか読もう／ばらの谷</b> ・物語が自分に最も強く語りかけてきたことを、自分の言葉でまとめる。 <b>意見を聞き分けよう</b> ・複数の意見の似ているところや違うところを聞き分ける。 <b>日本の文字に関心を持とう／漢字の練習</b> ・平仮名と片仮名の由来と特色を理解し、日本語の表記について知る。	<b>2 「持続可能な社会」への取り組みについて調べよう／未来に生かす自然のエネルギー</b> ・資料の示し方や具体例の挙げ方に注意して、筆者の意見を読み取る。 <b>3 資料を使って説明しよう／深めよう、言葉の世界</b> ・資料を効果的に使って、分かりやすく説明する。 <b>言葉は変わる／漢字の練習</b> ・言葉は時代とともに変化したり、世代によって異なったりすることについて知る。
	<b>4 書き手のくふうを考えながらか新聞の投書を読もう／新聞の投書を読み比べよう</b> ・読み手を説得するための工夫を読み取る。 <b>「わたしの意見」を書こう</b> ・書く事柄を整理し、構成を考えて、意見文を書く。 <b>漢文を読んでみよう</b> ・漢文を音読し、言葉の響きやリズムを味わうとともに、内容の大体を知る。 <b>本は友達</b> ・多くの本や文章を読むことの楽しさを知り、読書の範囲を広げる。 <b>詩と短歌を味わおう／いま始まる新しいいま／短歌</b> ・情景や心情を思い浮かべながら、詩や短歌を声に出して読み味わう。	<b>4 戦争と人間の生き方をえがいた本を読み広げよう／ヒロシマのうた</b> ・一つの物語をきっかけにして、関連するテーマの本を読み広げる。 <b>5 ふるさとの良さを文章で伝えよう／ふるさとの良さをしようかいしよう</b> ・目的に応じて書く事柄を集め、形式を選んでまとめる。 ・紹介したいものの良さが効果的に伝わるように、工夫して書く。 <b>伝えよう、大切にしたい名言／漢字の練習</b> ・目的に合わせて、自分の経験と考えを簡潔に書く。 ・伝えたいことを明確にして、話の組み立てを工夫して話す。
<b>6 わたしたちの日本語について考えよう／豊かな日本語の使い手になろう</b> ・雨のいろいろ ・数え方でみがく日本語 ・筆者の意見と具体例の関係に注意して二つの文章を読む。 ・経験したことや学習したことをもとに、自分の考えを書く。	<b>7 未来に向かって／君たちに伝えたいこと／春に</b> ・文章と詩を読んで、自分の考えや思いを広げたり深めたりする。	

国語科の評価

・国語科では五つの観点で評価します。

国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能
国語に対する関心をもち、計画的に話し合ったり、適切に書いたり、幅広く読書したりしようとする。	目的や意図に応じ、考えたことや伝えたいことなどを的確に話したり相手の意図を考えながらか聞いたりする。	目的や意図に応じ、考えたことなどを筋道を立てて文章を書く。	目的に応じ、内容や要旨を把握しながら読む。	音声、文字、語句、文や文章、言葉遣いなどの国語についての基礎的な事項について理解している。文字の大きさ、形、点画の筆使い、字配りなどを理解し正しく書く。

・次のような方法で見てください。

音読の観察 テスト ワークシートの内容 発言メモ 発表の内容 ノートの記録 感想文 構想メモ ニュースの発表内容 スピーチ 朗読の観察 情報収集の様子の観察 作品の内容 パネルディスカッション

おうちの方へ

・学習内容の定着を図るために、漢字スキルや学習プリントなどを活用します。家庭学習にも取り入れます。  
 ・読書は、国語科の基礎的な事項の定着、情緒的な面の育成、情報収集のための活用等からも重要であり習慣化することが大切です。  
 ・敬語の使い方など学校でも指導しますが、ご家庭でもお願いします。